

作成日：令和4年8月16日

JN共同事業体作成

令和3年度第2回利用者懇談会議事録

令和3年度 第2回 生涯学習センター利用者懇談会

日時： 令和4年3月25日（金） 19時00分～21時00分

場所： 東久留米市立生涯学習センター 学習室1

出席者：

利用者懇談会委員

【学識経験者】1名（副会長）

【利用者代表】3名

【指定管理者】施設長、設備管理責任者

【関係行政機関職員】生涯学習課長（生涯学習課係長帯同）

事務局

【指定管理者】副施設長

欠席者：

利用者懇談会委員

【学識経験者】1名（会長）

8名の委員の内1名が欠席、過半数の出席にて会議を開催

開催の目的

指定管理者が管理運営を行う東久留米市立生涯学習センターの指定管理期間中の運営を適正かつ円滑に行うために、市民のご意見等を伺う場として利用者懇談会を設置する。

議題：

（施設長）

本日お集まりいただいた委員の皆様は、昨年7月31日付けで任期が終了し、今回、新たに令和3年8月1日より令和5年7月31日までの2年間、利用者懇談会委員としてご就任頂いている方々となる。

「生涯学習センター利用者懇談会設置要綱」には「第3条 懇談会は、委員10人以内で構成する。」とあり、現在委員の方は合計8名。

本日は、8名中7名の委員にご出席いただき、「生涯学習センター利用者懇談会設置要綱」第6条に定める「過半数」に達していることをご報告する。

これまで同様懇談会は原則として公開扱いとなるので、本来であれば傍聴希望者がいる場合は後ほど入室していただくところだが、現在も東京都は「リバウンド警戒期間」中であることから、本日の利用者懇談会も前回同様、傍聴希望者を募っていないことをご報告する。

今回の議事録については前回同様、後日委員の皆様にご確認いただいた後、センターHPで公開する。

それでは会を進めるにあたり、初めに本日用意した資料を確認させていただく。

〈配布資料〉

- ① 式次第
- ② 資料1 令和3年度 東久留米市立生涯学習センター利用統計（2月末現在）
- ③ 資料2 令和3年度 東久留米市立生涯学習センター事業一覧【報告及び今後の予定】
- ④ 資料3 令和3年度 施設維持管理報告（令和3年7月以降の実績並びに今後の予定）
- ⑤ 資料4 令和4年度 東久留米市立生涯学習センター事業計画
- ⑥ 資料5 令和3年度 東久留米市立生涯学習センター利用者アンケート集計結果
- ⑦ 資料6 利用者懇談会委員名簿

1. 開会（進行役 施設長）

それでは次第に沿って進めさせていただく。次第の1～4までの進行を私のほうで務めさせていただく。

2. 市担当者紹介（生涯学習課より自己紹介と挨拶）

3. 設備管理者、事務局紹介（設備管理責任者、副施設長より自己紹介と挨拶）

4. 副会長挨拶

(副会長)

学校という場もコロナ禍で変わった。学校という自己実現の場がコロナで奪われてしまったが、この状況乗り越えていくことが、大人になって成長につながっていくと思う。

本日の懇談会では、学校とは別の自己実現の場である生涯学習センターで、コロナ禍の中でもよい活動ができるような話し合いができればと思っている。

5. 報告（進行役 副会長）

次第に沿って、令和3年度実績報告「運営・自主事業」に関して施設長より報告をお願いします。

●資料1 令和3年度 東久留米市立生涯学習センター利用統計（施設長より資料を基に報告）

第1回目の利用者懇談会の際は6月までの実績を記載したが、今回は2月までの実績を記載している。資料の上部※の箇所は本年度のコロナ感染拡大防止規制について時系列で記載している。

- ◆ 「1. 月曜日利用者数推移」については、8～9月の利用者数シェアが高いのは、この月に生涯学習センターがワクチン接種会場となり、ワクチン会場が設置された土日及び木曜日の利用者数がゼロとなっているため、その結果として比率が高くなっている。
- ◆ 「2. 午後利用者推移」についても、午後2の利用者数が前年度より増えているのは、ワクチン接種会場設置の影響で、一般利用の枠に限られてしまい、午後2の枠に利用者が分散したためである。
- ◆ 「3. 生涯学習センター利用実績」については、令和2年度の4～5月は休館のため利用実績が無い。令和3年度は前年と比較すると各月1,000～2,000人利用者が回復してきている。令和元年度のひと月当たりの利用者数が9,000～10,000人であったのを踏まえると、まだまだではあるが徐々に回復はしてきている。

●資料2 令和3年度東久留米市立生涯学習センター事業一覧（施設長より資料を基に報告）

- ◆ 9月30日までホールスプリンクラー故障のため舞台利用ができなかったため、事業スケジュールを秋以降に詰めて開催した。
- ◆ 夏休み自由研究講座については、例年4回の講座を行っていたが、本年度はワクチン接種会場設置の影響で3回となっている。
- ◆ 「スマホ体験講座・スマホの基本とLINE体験」の参加人数が定員を割っているのは、新型コロナウイルス感染防止を理由とした直前のキャンセルによるもの。

●資料3 令和3年度 施設維持管理報告（設備管理責任者より資料を基に報告）

- ◆ 令和3年7月から令和4年2月までの修繕工事他実績
- ◆ 令和3年度修繕工事他予定

質疑応答

(利用者代表)

ロビーのモニターのサークル紹介の動画は、とても効果があるように見える。動画は各サークルで作成したものなのか。デジタルツールを使いこなすのを難しく感じる方たちもいる。自分たちで作れない場合はどうすればよいか。

(施設長)

モニターで流れている市民吹奏楽団さんの動画はご自身で作成されたものである。写真データをいただければスライドショー形式であれば生涯学習センターで作成をお手伝いすることはできるので、窓口にご相談いただければと思う。

(利用者代表)

スマホの講座で直前のキャンセルがあったという話があったが、人気の講座なのであればキャンセル待ちを備えておいた方がよいと思う。

(施設長)

新型コロナウイルスの感染状況をふまえながら直前でキャンセルということもあり対応が難しいのが実情だが、生涯学習センターとしても一人でも多く参加していただきたいので検討する。

(利用者代表)

高齢者の方には、スマホの使い方が本当にわからない方がいる。電話なのに電話がかけられないという切実な状況である。今後3Gが終わってガラケーも使えなくなるので状況は深刻である。電話がかけられないと命にかかわる場合もある。そういう最低限必要なものについての講座は公共施設が積極的に行うべきである。応募数が多く、需要のある講座のため頑張っていたきたい。

●資料4 令和4年度 東久留米市立生涯学習センター事業計画（施設長より資料を基に報告）

- ◆ 令和4年度の大きな考え方としては、新型コロナウイルス感染症状況が落ち着き、制限も緩和されてくることをふまえて、感染防止策をしっかりしたうえで、コロナ前の規模に人の流れを戻していきたいと考えている。
- ◆ 「大野雄二&ルパンティックシックス」については、先日大野さんが体調を崩されて年内の開催は難しくなってしまった。そのためこの部分においては事業内容を再検討する。

●資料3 令和3年度 施設維持管理報告（設備管理責任者より資料を基に報告）

- ◆ 令和4年度 修繕工事他計画（案）

質疑応答、意見

（利用者代表）

まろにえ祭りに出店して食品を売り残してしまう団体が多い。食べてもらって初めて出店した意味があると思うので、開催情報をきちんと周知していく必要がある。場所が地下で分かりにくいところも要因としてあると思う。

（施設長）

サンクンガーデンの外の階段から出入りできるといいのだが、そこは現在、建築法上急傾斜過ぎて危険なため使用禁止となっている。館内の導線、案内をきちんとすることで各階に足を運んでいただける工夫が必要だと思っているので見直していきたい。

私自身もコロナ禍になってから生涯学習センターに赴任しているため、コロナ前のまろにえ祭りを経験していない。コロナ禍以前から出店している皆様のご意見はいろいろ伺って、まろにえ祭りに反映させていきたいと考えている。

（利用者代表）

まろにえ祭りは東日本大震災復興支援で成り立っているのだが、だんだんそのテーマが分かりにくくなってきている。パネル展示や消防署がきたりしていろいろやっているが、まろにえ祭りを見に来るだけで、それだけでテーマが成立するような掲示等があると小学生の親子連れさんなどが来てくれるのではないかな等、参加団体は参加しながら話し合っている。第一回まろにえ祭りからずっと参加している方もいると思うので参加者の意見を是非聞いていただきたい。

（施設長）

承知した。

（関係行政機関職員）

今年度は基本的なスマホの使い方講座の他に、さらに付加価値をつけてLINEといったよく使われる機能を紹介した講座を行った。単にスマホを使ってみましょうという講座よりも申し込み数が増えているということは、こんなことで使ってみませんかという働きかけが利用者に支持されているということだと思ふ。

このようにテーマ設定することで、今自分はこういうことで困っているということが利用者側で具体的にイメージしやすくなると思う。

例えば国が進めているマイナンバーの申請は、申請をすると2万円分のマイナポイントがつく。スマホ教室でマイナンバーを申請するところまでご紹介すれば、無料で学べた上さらに2万円分のポイントがもらえる。このようにスマホを学ぶことを何かテーマとつなげることで未永い講座運営ができると思う。スマホを使いたい方はたくさんいて、まだまだ伸び代がある講座だと思うので、今後も工夫し、続けていただければと思う。

役所的な話で申し訳ないが、DXが進行し、役所の窓口も紙をやめて画面で入力を行うようにしましょう、名前を書いてハンコを押すのは止めましょう、家でも行政の手続きが出来るようになりましょうという方向になってきていて、パソコンが使えないとどんどん不便になって行く。だから、スマホ講座等を通して、われわれがしっかりフォローしていけるようになればいいと思う。

(利用者代表)

私の勤務しているパソコン教室では、オンラインツアーを申し込んで海外旅行体験をする講座など、パソコンの使い方を楽しみながら学ぶということを重要なポイントとしている。ご高齢の生徒さんも楽しく学ぶ経験があると自宅での使い方の復習につながる。そして先ほどのDXの話とは関係ないようだが、パソコンを楽しく使った経験は、他の目的でパソコンを積極的に利用していく事に(市役所の手続きなど)もつながっていく。実際、生徒さんがパソコンを使うことに怖さがなくなり、確定申告をパソコンで行なったという方もいる。

スマホやパソコンを楽しむことのできる講座を公共施設が行うという意味は大きいと思う。ぜひ継続して行ってほしい

スマホ講座はその人自身が持っている機種で受講できるとよいと思うがいかがか。

(施設長)

iPhoneとAndroidだと操作手順が違うため、講座での進め方に工夫が必要かと思う。

(利用者代表)

大変難しい問題だと思う。実は簡単スマホが一番操作するのが難しい。簡単スマホは電話をかけるのは簡単だがそれ以外は難しい。

iPhoneは操作方法が共通しているが、Androidは操作方法が統一されていないということもある。

●資料5 令和3年度 東久留米市立生涯学習センター利用者アンケート集計結果(副施設長より資料を基に報告)

質疑応答、意見、自由討論

(利用者代表)

アンケートを見ると、書道や絵を描いている人は二階で道具を洗えないと書いてあるがどこで洗っているのか。

(施設長)

通常の手洗い場や給湯室の流しに墨や絵の具を流されてしまうと汚れてしまい、その後の掃除も大変なため、基本的には書道の墨等はお持ち帰りいただくようお願いしている。

ただなかなかそうもいかないということなので、二階であれば女性トイレ、一階であれば男性トイレのそれぞれ清掃用の大きなシンクが清掃道具を入れているところを開けるとあるので、そちらをお使いいただくようお願いしている。

(利用者代表)

トイレが改修され、カーテンがきれいになったことで生涯学習センターの印象がよくなった。今までは人を呼ぶのが恥ずかしいという感じだった。大規模改修工事が延長となったが、市長が変わり、今後の予定はどうなるのか。

(関係行政機関職員)

現在、市では「未来志向への公共施設の在り方検討会」というものを作っていく予定である。

(利用者代表)

ということは、この現在不具合があるという学習室1・2のパーテーションはどうなるのか。

(施設長)

パーテーションの現状については、全く動かない状況ではないが、経年劣化が激しく従来のように職員一人での開閉は難しいぐらい不具合が発生している状況である。今後完全に動かなくなってしまう、もしくは、防音性のあるかなり重たいパーテーションのため動かしている最中に天上から外れて倒れて大きな被害になってしまう可能性があり、施設の安全面で非常に問題がある。市に相談させてもらい、いったん5月までは学習室の予約を受けているので、パーテーションの動く限りではあるが開閉作業を行う。6月以降はパーテーションを開けた状態で運用していく予定である。その場合、学習室1と2で別々の団体が入っているのに仕切りがないという状況は色々な意味でそれぞれの団体に迷惑をかけるため、運用方法としては階段から遠い学習室1の方を閉鎖し、学習室2だけを運用する。学習室1・2を連結して使用したい利用者は学習室1分の追加料金をいただくことで今までどおり二部屋連結で使う事はできる。

(利用者代表)

結果として部屋数が少なくなるということになる。今でも部屋の予約が取れないという話も出ているので、さらに予約が取りにくくなるという問題が出てくる。市民としては部屋が二つあった方が良いと思う一方、広い部屋も欲しいというところもある。難しい判断である。

(施設長)

利用者の要望に応じて部屋を広く使いたいというのと部屋を狭く使いたいというのを両方選べるようにするには、パーティションを開けた状態でしか対応できない。パーティションを閉めたままの状態でも運用した場合、もっと大きい部屋が欲しいというときに対応できない。

パーティションはかなり規格の古いもののため、現在の規格のもので修理対応が出来ない状況である。これを修理するためには天井から直さないといけないため、すぐに修理ができる状況ではない。また、簡易な対応ができる状況でもない。

(利用者代表)

天井から直さなきゃいけないということは改修工事が始まらないと直らないということか。数年間パーティションは開けたままということになるのか。

(関係行政機関職員)

パーティションを直すには、壁、レール、それに付随する蛍光灯、エアコンの配管を壊して行う必要があり、結構大規模な工事になる。施設全体を閉めて工事するとすると利用者へ大きな影響が出るため、施設全体の修理の優先順位をつけて必要な物を直しながら進めていくことになる。

(施設長)

ここだけを部分的に直すというのはなかなか難しく、いろいろなものを平行して直していく必要があるため、予算だけの問題ではなく館全体の改修に合わせて行かないとパーティションを直すのは難しいというのが現状かと思われる。

6. 事務連絡 (副施設長)

今回は、令和4年度第1回利用者懇談会を7月頃に開きたいと思っている。詳細は直近になったらご連絡させていただく。

7. 閉会 (副会長)

委員の皆様のご協力により本日の予定を無事終了することが出来た。

これにて、令和3年度第2回利用者懇談会を散会とする。

以上

資料 5

<<令和三年度>>

東久留米市立生涯学習センター 利用者アンケート集計結果

実施期間：2022年1月5日（水）～1月31日（月）

アンケート総数：165枚配布中、137枚回収

回収率：83%

2022年3月

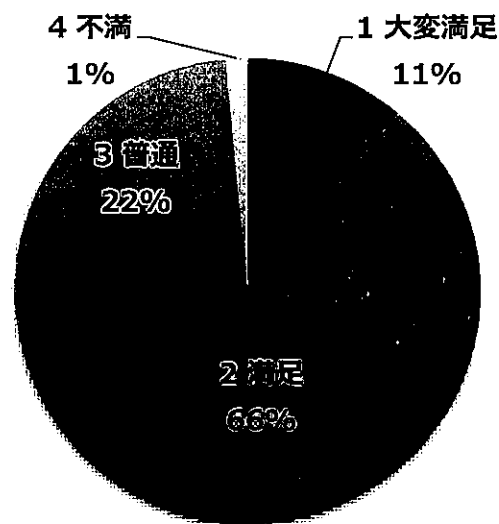
利用者懇談会資料

目次

内容

Q1. 当施設のご利用に満足されていますか？	2
Q2. 窓口及びスタッフの対応はいかがですか？	3
Q3. 施設の備品について伺います.....	4
Q4. 施設予約、窓口手続きについてお聞かせください.....	5
Q5. 団体での交流についてお聞かせください.....	6
Q6. コロナ禍の団体活動についてお聞かせください.....	7
Q7. 生涯学習センターの情報をどの媒体で確認されていますか.....	9
Q8. ご回答いただいた方のご年齢（年代）、お住いの地域をご記入ください.....	9

Q1. 当施設のご利用に満足されていますか？



大変満足	15
満足	88
普通	29
不満	2
大変不満	0
無回答	3

【昨年度】	【今年度】
肯定的回答 74% (満足以上)	肯定的回答 77% →3%増加
中間的回答 25% (普通)	中間的回答 22% →3%減少
否定的回答 1% (不満以下)	否定的回答 1% (不満以下)

【傾向と分析】

肯定的回答が昨年度から3%増。昨年度も17%の伸長があったが、今年度もさらにご支持いただいた結果となった。評価内容は「清潔さ」「広さ」「対応の良さ」「リーズナブル」。

否定的回答としては、「暖房機能」「抽選」「開錠時間」についてコメントをいただいている。

理由・ご意見

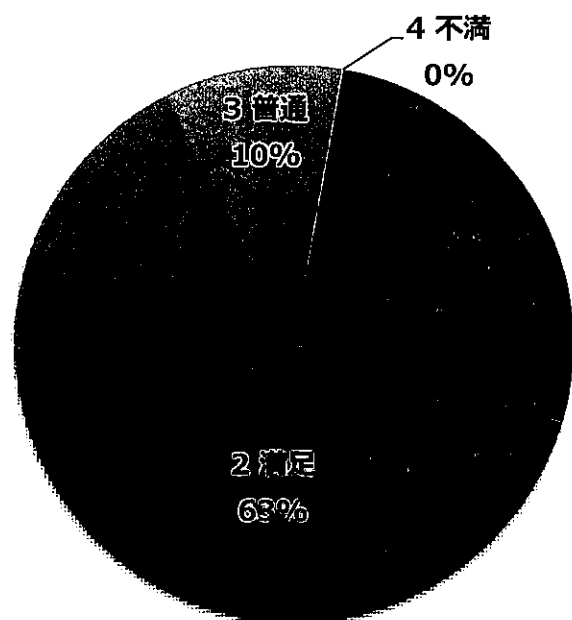
【肯定的意見】

- ・ 普段学習室1を使用していますが、いつもキレイで広い会場の為、とても使いやすい。
- ・ 事務局の対応から各部屋の整理等全て満足しています。
- ・ 対応良好。
- ・ 特に何も問題なく使用できている。
- ・ 和室が広い。抽選。
- ・ きれい、清潔。
- ・ 安くて広い。

【否定的意見】

- ・ 今日寒かった。聞いたら年が変わり昨日までお休みと聞き温まりが遅かったとのこと。もう少し早くから暖房をつけて下さればと思います。
- ・ 必ず希望の利用が確保されるわけではないため。
- ・ カギをもう少し早く渡して欲しい。
- ・ 暖房の効果が上がらなかった(寒かった)。
- ・ なかなか予約確保が出来ない。
- ・ 私達は和室が希望なのですが中々むずかしく和室がもう一部屋欲しい。

Q2. 窓口及びスタッフの対応はいかがですか？



大変満足	36
満足	85
普通	14
不満	0
大変不満	0
無回答	2

【昨年度】	【今年度】
肯定的回答 92% (満足以上)	肯定的回答 90% →2%減少
中間的回答 7% (普通)	中間的回答 10% →3%増加
否定的回答 1% (不満以下)	否定的回答 0% (不満以下)

【傾向と分析】

肯定的回答が昨年度から 2%減少しているものの、9 割の利用者様より肯定的回答を頂いた。今年度については昨年 1%あった否定的回答が 0%であった。高評価の内容は「親切」「丁寧」「対応の良さ」。今後も利用者様からご支持いただけるよう、サービスの質の維持・向上を目指していきたい。

理由・ご意見

【肯定的意見】

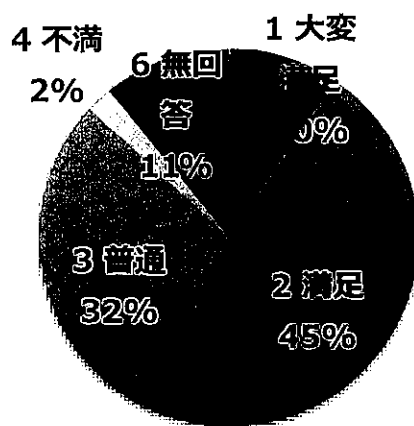
- ・ 受付スタッフの方が親切丁寧な対応で気持ちよく利用できている。
- ・ 事務局の対応から各部屋の整理等全て満足しています。
- ・ 大変親切です。
- ・ 対応良好。
- ・ いつも気持ちよく対応していただいています。
- ・ 大変親切に感謝します。
- ・ とても丁寧な対応です。
- ・ イレギュラー対応にもきもちよく応えていただいています。

【否定的意見】

- ・ 少し早めに鍵を頂ければと思います。

Q3. 施設の備品について伺います

①満足度



【傾向と分析】

肯定的回答（満足以上）が全体の 55%。
 設備・備品については、コロナ禍での対応について、老朽化について、設備・備品の拡張について等のご意見・ご要望を頂いている。今後、費用対効果ふまえながら一つ一つお応えしていきたい。

理由・ご意見

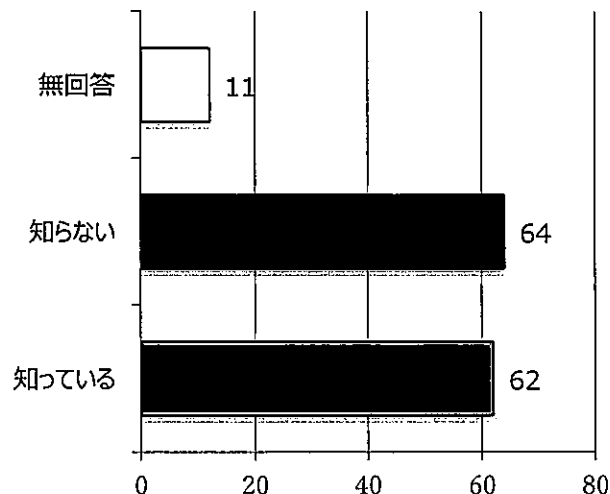
【肯定的意見】

- ・ ラジカセを使用しているが、壊れたものは定期的に交換しているようで有難いです。

【要望・意見】

- ・ コロナの為管楽器の貸し出し利用が出来ないのがつらいです。ティンパニーヘッドは2～3年に一度交換してほしいです。
- ・ 空気清浄機は絶対必要です、一部屋に一台。
- ・ テーブルをふくティッシュをもう少し多くして下さい。
- ・ 2Fにサークル用の水場があったらいいです。（墨、絵手紙等）
- ・ 荷物が多いので両手がふさがっています。筆箱があつかいにくいです。
- ・ 古いなりのも良いと思える点が多くあればいいが。
- ・ イーゼルがガタついていて使いにくい。
- ・ 例えば和室利用の場合、座椅子がもう少し欲しいです。
- ・ 舞台がもう少し広ければ…。

②施設内にフリーWi-Fiがあることをご存じですか



【傾向と分析】

今年度より立ち上げたフリーWi-Fiについての認知度の確認と設問をととしてWi-Fiの周知を行うのが設問の意図である。「利用している」方からは“全室利用できるようにしてほしい”、「利用していない」方からは“使い方が分からない、「今のところ利用しようと思わない」方からは“つながらない”とのご意見を頂いており、今後の課題として検討したい。

知っている ⇒ 利用している	
満足	5
普通	9
不満	1
無回答	9
計	24

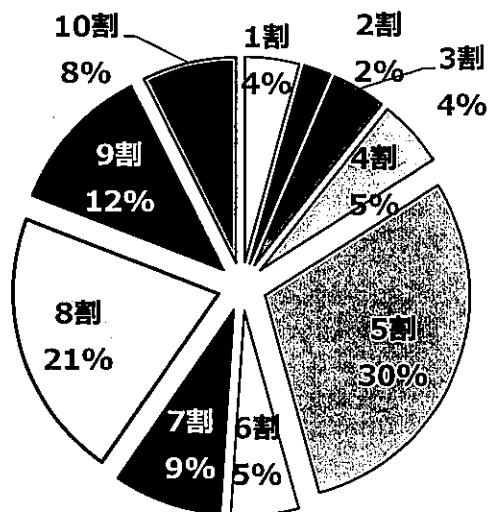
知っている ⇒ 利用していない	
機会があれば利用したいと思う	13
いまのところ利用しようと思わない	9
無回答	16
計	38

知らない	
機会があれば利用したいと思う	40
いまのところ利用しようと思わない	13
無回答	11
計	64

Q4. 貸室予約、窓口手続きについてお聞かせください。

① 予約システムの抽選について

1. 希望数に対して抽選で確保出来る平均的割合



令和2年	令和3年	前年比
241	215	89%
当選率		
51%	48%	-3%

2. システムを通さず直接受付で手続きをして頂ければ、一カ月で最大5枠までのご予約が可能です。ご存知でしたか？（件数）

知っている	56	知らない	65
-------	----	------	----

② 当月の貸室の空枠状況を窓口とホームページにて掲載しているのをご存じですか（件数）

知っている	100	知らない	25
-------	-----	------	----

③ 備品手続きについて

問題ない	107	問題ある	4
------	-----	------	---

④ チケット予約手続きについて

問題ない	88	問題ある	1
------	----	------	---

【傾向と分析】

予約システムの当選率については、8割以上の回答が昨年度全体の62%の割合であったのに対し、本年は41%と落ち込んでいる。本年度はコロナ禍をふまえて活動を控える団体が64団体、反対に活動を再開した団体が38団体あり、合計では昨年に対し26団体減となっている。全体の当選率が落ちているのは活動する日程がバッティングしていることが考えられる。

窓口であれば5枠までの予約が可能であるが、まだご存じではない利用者様が多いので、周知していきたい。当月空枠の有効利用を目的に昨年10月から開始した「当月の空枠状況」については、ご存じの方が多く、「知っている」と回答したうち半数以上の方が「役立つ」と回答頂いている。

備品手続きに関しては、ほとんどが問題ないとのことだが、「もう少し簡単にしたい」とのお声を頂いている。

Q5.団体での交流についてお聞かせください

① 他団体がどのような運営をしているか見学したいと思いますか。

見学したい	興味がない	その他
22%	67%	11%

② 生涯学習センター主催講座、イベントに講師や運営スタッフとして参加したいと思いますか。

参加したい	参加したくない	条件や内容による
15%	60%	25%

③ 新規メンバーを受け入れる予定はありますか。

ある	無い	その他
71%	25%	4%

④ メンバーの主な入会・脱会理由等あればご記入ください。

入会理由	脱会理由
<ul style="list-style-type: none"> 活動そのものへの興味、関心 興味があるので入会 興味がある人しか続かないと思う 書道に関心があり意欲的に取り組みたい人（基礎基本を学びたい人） 太鼓すきだから 紹介による入会 	<ul style="list-style-type: none"> 健康上の理由 病気 体調の悪化 年齢によるところが大きい 高齢のため会場に来るのが困難 年と共に脱会する人が増えている 高齢者の脱会が多く出たあとなので、会員数が激減している。1人でも多くの方の入会を希望している。 コロナ禍でもあり退会する方も多いので新しい方を募集したいと思っています。 仕事・コロナ禍（看護師さんがいた） 家族の病気 介護 個人の理由 転居のため

【傾向と分析】

生涯学習センターの機能である「集う」「学ぶ」「結ぶ」のうち、「結ぶ」機能を強めていきたいと考えている。全体の2割程度、見学・参加を希望される積極的な方がいらっしゃることは分かったので、今後に向けて利用者参加型の事業を、コロナ禍の状況をふまえながら検討していきたい。

③の問いに関しては、やはりコロナ禍をふまえてメンバーの増員に消極的な団体はあるものの、積極的な姿勢の団体が大半であった。その他、現状の人数がちょうどいいという回答も見られた。

④の問いについて、入会理由については「活動そのものへの興味、関心」につきるようである。脱会理由については、健康上の理由が最も多く、その次にご年齢についてのものが見られた。

Q6. コロナ禍の団体活動についてお聞かせください。

①コロナ禍前と比較して現在の活動回数はどうなりましたか（件数）

増えた	変わらない	減った	その他
1	60	55	2

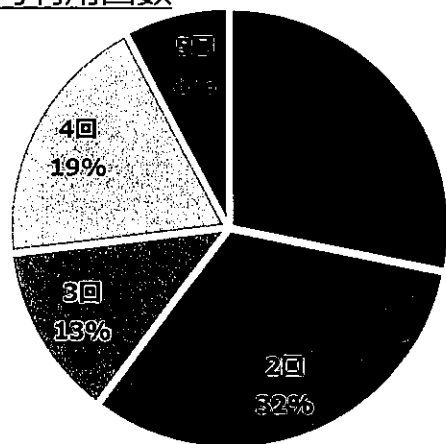
②コロナ禍前と比較して参加人数はどうなりましたか（件数）

増えた	変わらない	減った	その他
3	61	54	2

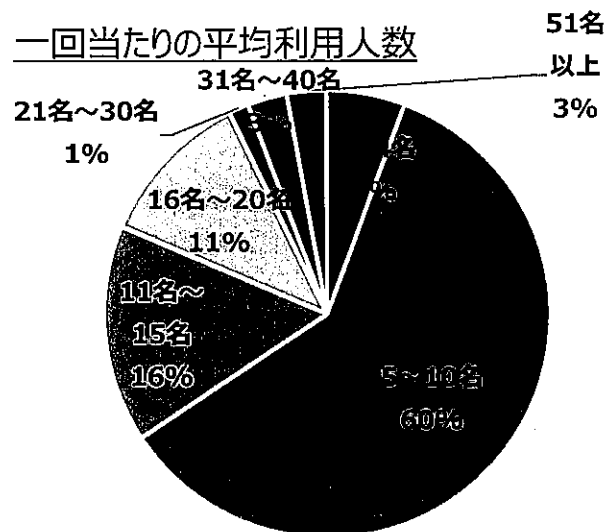
④貸室の利用時間枠について

長い	丁度よい	短い
2	107	5

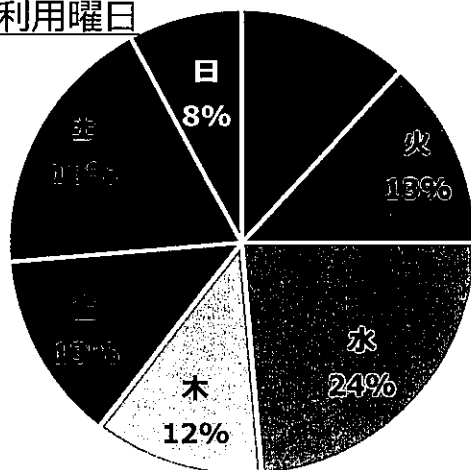
月平均利用回数



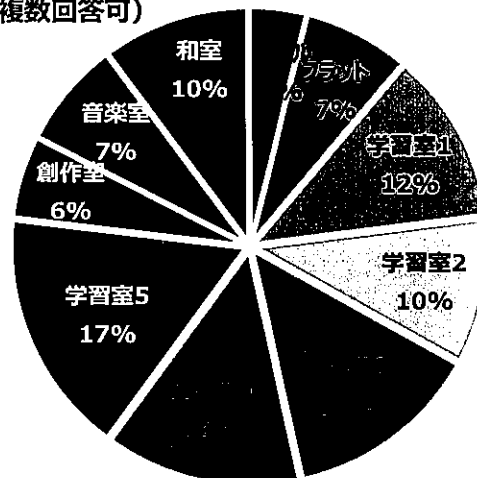
一回当たりの平均利用人数



主な利用曜日



③主に利用する部屋は（複数回答可）



【傾向と分析】

活動回数については、コロナ禍前と比較して60の団体が変わらない、55の団体が減少したと回答。参加人数についても同じ傾向が見られる。

利用回数の全体の割合は昨年と大きく変わらないが、昨年は5回以上利用者が2%だったのに対して今年は8%と増加している。活動を控える団体がいる一方で、コロナ禍に対応しながら積極的に活動していることがうかがえる。

利用日については、引き続き水曜日の利用割合が高い。

平均利用人数に関しては昨年同様、「5~10名」の割合が60%と最も多い。

上記規模の利用人数の活動が多いことから、学習室3（定員18名）、学習室5（定員24名）の利用割合が自ずと高くなっていることがうかがえる。

貸室の利用時間枠については、ほとんどの利用者が「丁度よい」と回答いただいている。

⑤ コロナ禍前と比較して活動内容に変化がありましたら教えてください

- ・ 前半、後半に分けた。時間の短縮。先生は2回レッスンして頂く。
- ・ 密を避ける為、開催時間を二部制に変更した。
- ・ 人数を2つに分けて活動した。
- ・ より広い場所で活動するようになった。
- ・ 音楽室中心からフラット中心に。
- ・ 学習センター閉鎖中は自宅で開催した。
- ・ Zoomの利用が始まった。会合への欠席に対し自己判断を認める気風が広まった。
- ・ 時間が短くなった。
- ・ 時間制限があった。
- ・ 例会での利用時間減り、内容も少なくなり意気が揚がらない。
- ・ 発表の場がなくなったので練習のメリハリをつけるのが難しい。
- ・ 定例会回数は減りましたが、活動は続けています
- ・ ボランティア活動、発表会 etc.中止
- ・ 活動ができない。
- ・ 夜間の時間短縮されてしまって仕方がないが利用しにくかった。
- ・ マスクをして、又、ソーシャルディスタンスで歌うこと。
- ・ 吹奏楽のため感染を不安視して参加者が減り、演奏会も身内のみなど変化しました。
- ・ 休む人が多くなった。
- ・ 参加を自粛する人が多くなった。
- ・

⑥ 生涯学習センターの感染拡大防止対策（マスク着用、手指消毒、利用人数制限、換気、消毒セット等）について

問題ない	問題あり
109	4

⑦ 緊急事態宣言、ワクチン接種会場設置による施設利用中止に関する施設の対応について

(ア) 連絡方法について

問題ない	問題あり
103	3

(イ) 還付手続きについて

問題ない	問題あり
103	2

(ウ) 中止決定時期について

問題ない	問題あり
94	6

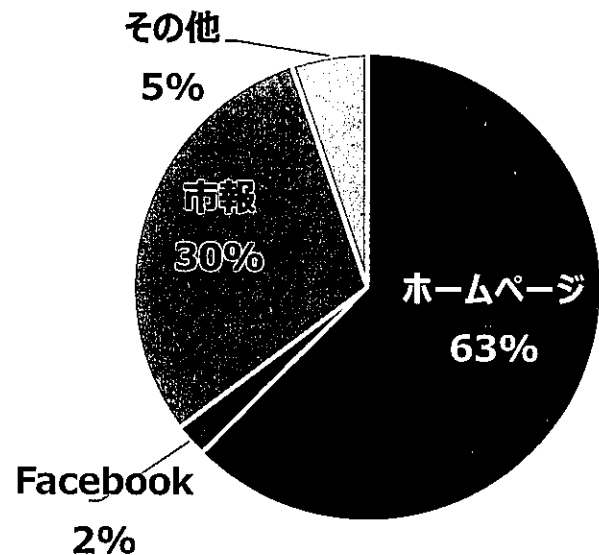
【傾向と分析】

コロナ禍の活動では密を避けるため、時間の短縮、二部制での開催、広い場所での活動といった変化が主にあげられた。また、それに伴うモチベーションの低下もご報告頂いている。

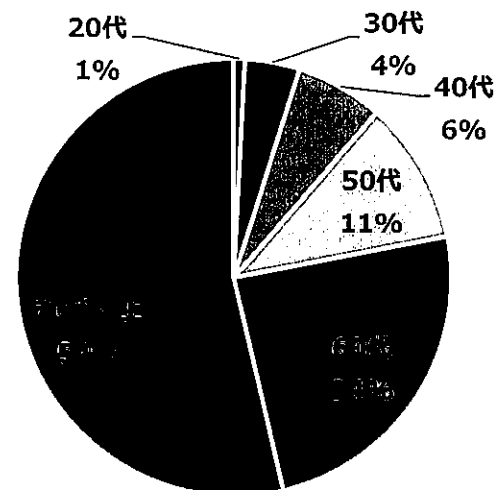
⑥の問いについては、問題ないとの回答を多数頂いたが、「管楽器貸出の再開」「人数制限があるため」大きめの部屋を取らなければならない」とのご不満の意見も頂いた。

⑦の問いについては、「急であったが、仕方がない」「他の会場を探すのに苦労した」「早めに連絡してほしい」とのご意見を頂いた。

Q7. 生涯学習センターの情報をどの媒体で確認されていますか。



Q8. ご回答いただいた方のご年齢（年代）、お住いの地域をご記入ください。



【傾向と分析】

生涯学習センターの主な情報収集媒体はホームページ、市報で全体の93%を占めている。facebookが2%ということで、こちらの普及活動は課題である。その他としては、「電話」「窓口」があげられていた。

利用者の年齢層は78%が60代以上となり、昨年の73%より5%増加している。現利用者層の深耕と、未開拓である50代以下の利用者を増やしていくことが、今後の利用者拡大における課題であると考えます。

利用者の居住地については、全体の64%が中央町と隣接する町となっている。居住地からの距離が重要視されていることがうかがえる。今後の利用者拡大のため、近隣住民を中心とした利用促進と近隣以外の市内遠方および市外の利用者の誘致を如何に進めていくかを検討していきたい。

利用者の居住地

